

## News release

### スイス・リー・グループ、決算発表—2015年9ヶ月累計の純利益は12%増の37億米ドルと極めて好調

- グループの2015年9ヶ月累計の純利益は12%増の37億米ドル。好調な引受実績と投資収益、自然災害の発生が少なかったことが好業績の背景に
- 損害再保険事業の同9ヵ月累計の純利益は23億米ドル、株主資本利益率は23.3%
- 生命・医療再保険事業の同9ヵ月累計の純利益は大幅に改善して7億6300万米ドル、株主資本利益率は17.0%
- コーポレート・ソリューションズの同9ヵ月累計の純利益は3億2400万米ドル、株主資本利益率は18.7%
- アドミン・リー®の同9ヵ月累計の純利益は2億7000万米ドル、総キャッシュフローは2億6500万米ドル
- ティエリ・レジェを2016年1月1日付でグループ経営執行委員に指名。
- スイス・リーは天津の爆発事故による保険損害額を約2億5000万米ドルと推定
- スイス・リーは規制当局の認可を待ち、11月中旬に自社株買いを開始する予定
- スイス・リー取締役会は2016年4月の定時株主総会においてポール・タッカー氏を取締役メンバーに選任することを提案

チューリッヒ、2015年10月29日—スイス・リー・グループ(以下、スイス・リーまたはグループ)は、2015年第3四半期の純利益が14億米ドル、9ヶ月累計の純利益が37億米ドルとなったことを発表しました。全事業部門がこの業績に貢献する中、とりわけ生命・医療再保険事業が純利益を大きく伸ばしました。この好調な業績は、基幹となるポートフォリオが非常に好調であったこと、クライアントと密接な関係を築き、サービスの差別化を図ることを重要視してきたことで実現できたものです。グループの株主資本利益率も好調で、この9ヵ月で14.5%でした。グループの財務実績が好調であることから、スイス・リーは必要な申請及び認可を前提として、11月中旬には自社株買いプログラムを開始できるとみています。スイス・リーは、2011-2015年期の財務目標に達成に向けて順調に推移しています。

グループの最高経営責任者を務めるミシェル・M・リエスは次のように述べています。「スイス・リーは2015年9ヶ月間において極めて好調な純利益を計上しました。保険市場全般が引き続き困難な状況にあるにもかかわらず、スイス・リーは2011-2015年の財務目標達成に向けて着実に前進し

Media Relations,  
Zurich  
Telephone +41 43 285 7171


New York  
Telephone +1 914 828 6511

Hong Kong  
Telephone +852 2582 3660

Investor Relations,  
Zurich  
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
P.O.Box  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999

[www.swissre.com](http://www.swissre.com)  
 @SwissRe

ました。また、第3四半期にはアドミン・リー®部門の大規模取引についても発表し、目標リターンを超える余剰資本の一部を活用する絶好の機会となることを示しました。さらに、今年の定時株主総会で承認された自社株買いプログラムについても11月中旬に向けて準備を進めています。」

### **グループは9ヶ月累計の純利益を大きく伸ばし、投資収益率は3.8%と堅調**

全事業部門が業績に貢献し、グループの2015年9ヵ月累計の純利益は12%増の37億米ドルとなりました（前年同期は33億米ドル）。全般的に、厳格な引受、少ない自然災害損害、準備金の取り崩し、そして好調な生命・医療再保険事業が業績に伸張に寄与しました。

9ヵ月累計の株主資本利益率は年率換算で14.5%、1株当たり利益は10.19スイスフラン（10.69米ドル）となりました。前年同期は8.52スイスフラン（9.51米ドル）でした。

2015年9月末までの9ヶ月累計におけるグループの投資収益率も3.8%と堅調でした。同期間、グループの投資純利益は27億米ドル（前年同期は31億米ドル）となりましたが、この減少の要因は投資対象資産の縮小と株式投資および代替投資からの収益の減少でした。

普通株1株当たりの純資産は、2014年12月31日時点の101.78米ドル（101.12スイスフラン）から2015年9月末時点には95.34米ドル（93.13スイスフラン）へ減少しました。スイス・リー・グループは326億米ドルの普通株主資本を持ち、資本基盤は引き続き盤石です。当グループのソルベンシー・マージン比率はスイス・リー・グループのリスク許容力を十分に上回っており、すでに発表されたガーディアン・ファイナンシャル・サービスの買収で予想されている20~25%の影響を差し引いても、十分な資本を有する状況が続くと見えています。

### **天津爆発からの保険金支払見通し**

2015年8月に中国の天津港で発生した爆発事故は、これまでのアジアにおける人災の中でも最大規模になるとみられています。現時点での情報に基づき、スイス・リーは爆発事故による損害額概算は税引前でおおよそ2億5000万米ドルと見積もっています。しかし、損害額の査定に関して不確実な要素が多いことから、当社の損害額の評価は、今後変更される可能性があります。

### **損害再保険の業績も自然災害の落ち着きを背景に非常に好調**

損害再保険事業は今年に入ってからの9ヵ月間で、23億米ドルの純利益を計上しました（前年同期は24億米ドル）。当該9ヶ月の結果には、基幹となるポートフォリオが好調であったこと、自然災害の発生が少なかったこと、そして過年度引受の結果が好調であったことなどが業績に寄与しました。ただし当期は、天津で発生した爆発事故による損失予想額の約2億3500万米ドル（税引前）といった大規模な人災による損害が数件発生した影響を受けました。

当期のコンバインド・レシオは 84.8%でした(前年同期 82.7%)。また 9ヶ月累計の既経過保険料は 114 億米ドル(前年同期 117 億米ドル)でした。為替変動の影響を除いた場合、既経過保険料は 4%増加しましたが、これは米国でのカジュアルティー事業の拡大、EMEA(欧州、中東、アフリカ)地域における保険料収入の増加、外部再々保険の減少が主な要因でした。ただし、その一部は中国における大口比例再保険契約の満了によって相殺されました。

### **生命・医療再保険の純利益は大幅増の 7 億 6300 万米ドルとなり、株主資本利益率の目標達成に向けて順調に推移**

生命・医療再保険事業は 2015 年の 9ヶ月累計で、7 億 6300 万米ドルの純利益を計上しました(前年同期は 2 億 7200 万米ドル)。当期の増益は主に堅調な営業利益と利払いの減少、正味実現利益を反映したものでした。この業績は、前年度の経営措置が実を結び、直近の 9カ月の安定した業績に貢献しました。その結果、営業利益率は前年同期の 8.8%から 10.7%に改善しました。

同 9ヶ月累計の株主資本利益率は、年率換算で 17.0%となり、年末までの目標株主資本利益率である 10~12%の達成に向けて順調に推移しています。既経過保険料および手数料収入は 81 億米ドル(前年同期 84 億米ドル)でした。為替変動の影響を除いた場合、既経過保険料および手数料収入は 5%増加しました。

### **コーポレート・ソリューションズの純利益は 30%増、株主資本利益率は 18.7%**

コーポレート・ソリューションズは、2015 年の 9ヶ月累計で 3 億 2400 万米ドル(前年同期比は 2 億 4900 万米ドル)の純利益を計上しました。この 30%の増益はほとんどの種目で黒字が続いたこと、デリバティブ形式の保険ビジネスからの正味実現利益によるものでした。自然災害からの損失が少なかったことも業績の下支えとなりました。人災である中国の天津での爆発事故の影響は、税引前で 1500 万米ドルでした。

保険料収入は 2%減の 25 億米ドル(前年同期は 26 億米ドル)で、依然として厳しい市場環境を反映しています。為替変動の影響を除いた場合、保険料収入は前年同期比で 2%増となりました。当期のコンバインド・レシオは 91.9%に改善しています(前年同期は 92.9%)。今後、コーポレート・ソリューションズはマドリッドに事務所を開設してイベリア半島における存在を強化するほか、日本で二番目の市場である大阪にも進出するなど、引き続きその足掛かりを拡大しています。

### **アドミン・リー®は好調な総キャッシュフローを生み、2 億 7000 万米ドルの純利益を計上**

アドミン・リー®は同 9ヶ月累計で、純利益 2 億 7000 万米ドル(前年同期比は 2 億 1900 万米ドル)を計上しました。増益の主な要因は、ソルベンシーII 対策によるポートフォリオの構成見直しの一環としての国債の売却による実現利益の増加と英国の年度末法定財務諸表の確定による税額控除で

した。同 9 カ月累計の総キャッシュフローは 2 億 6500 億米ドル(前年同期は 6 億 1500 万米ドル)でしたが、前年度には債務不履行リスクに備える利益準備金の取り崩しの影響及び英国の法定評価性引当金の増加に関する影響が含まれております。

スイス・リーは2015年9月、ガーディアン・ファイナンシャル・サービスの買収を発表しましたが、規制当局から認可が出るのは2016年に入ってからとなる見込みです。この買収は、生命保険のクローズド・ブック事業のコンソリデーターとして英国でトップになるというアドミン・リー®の戦略の進捗を明確に示すものです。米国市場からのアドミン・リー®の撤退の一環として4月にはオーロラ・ナショナル・アシュアランス・カンパニーの売却を完了したほか、HSBCから獲得した契約をアドミン・リー®のプラットフォームへ移行する作業は、第3四半期中に無事完了しました。

### 第 3 四半期の業績:グループ全体で非常に好調

2015 年第 3 四半期の損害再保険事業の純利益は、大規模な自然災害による損害がなかったことや準備金の取り崩し、投資の業績が良かったことを反映して、10 億米ドル(前年同期は 8 億 4200 万米ドル)となりました。既経過保険料は、外国為替の変動を含んで 41 億米ドル(前年同期は 43 億米ドル)となりました。為替変動の影響を除いた場合、既経過保険料は 1.4%増加しましたが、これは主に米国のカジュアルティ事業の拡大が要因です。

生命・医療再保険事業の純利益は、好調な営業利益と利息負担減少の恩恵を受けて、2億6800万米ドル(前年同期は1億6000万米ドル)となりました。既経過保険料および手数料収入は、英国における長寿保険の新規契約のほか、アジアで大口案件がいくつかあったことを受けて、28億米ドル(前年同期は29億米ドル)となりましたが、一部は為替の変動で相殺されました。営業利益率は11.3%に改善しました(前年同期は9.2%)。

コーポレート・ソリューションズの第 3 四半期の純利益は 8500 万米ドル(前年同期は 1 億 300 万米ドル)となりました。大部分の地域の事業が黒字を確保したほか、投資収益が伸びたことも貢献要因となりました。保険料収入は為替変動の影響を除いた場合、8%減の 7 億 9600 万米ドルとなり、厳しい市場環境を反映した結果となりました。コンバインド・レシオは 90.7%でした(前年同期は 90.5%)。

英国での投資市場が低迷した影響を受け、アドミン・リー®は 2100 万米ドル(前年同期は 5400 万米ドル)の純利益を同四半期に計上しました。総キャッシュフローは、基幹事業の業績が予想通りとなったことから 1 億 2600 万米ドルと、好調に推移しました。

当四半期のグループ投資収益率は 3.2%と堅調でした(前年同期は 3.5%)。グループ全体の純投資収益は 9 億米ドル(前年同期の 10 億米ドル)となりましたが、これは投資対象資産が縮小したことに伴い確定利付き証券からの利益が減少したことによるものでした。

グループの最高財務責任者であるデビッド・コールは次のように述べています。「第3四半期も当社は、天津からの巨額の保険金請求による影響があったにもかかわらず、非常に好調な業績をあげることができました。当期の業績は、3つの異なる事業部門から多角的に経営をする重要性を再び示す形となりました。おかげさまで、生命・医療再保険事業における経営行動計画も着実に成果を上げております。スイス・リーの全体的な業績に自信を持って、2011-2015年期の財務目標の対象となる最終四半期に進むことができます。」

#### **ティエリ・レジェがグループ経営執行委員に就任：生命保険事業を網羅するすべての領域はライフ・キャピタル・ビジネス事業部に統合**

スイス・リーの取締役会は、ティエリ・レジェを2016年1月1日付でスイス・リー・ライフ・キャピタル社 CEO 兼グループ経営執行委員に指名することを発表します。就任に伴い、生命保険事業の管理に関わるグループ内全領域をグループ経営執行委員会において監視する業務もレジェが併せて行うこととなります。また Admin Re®のクローズド・ブック・フランチャイズを含め、生命保険領域の戦略的発展の指揮をとる責任も担います。これには当社の顧客およびパートナーの保険契約者を対象とした既存のビジネスも含まれます。今回の変更は、持ち株会社に所属する Admin Re®の名称をスイス・リー・キャピタルに統一することも含め、2016年1月1日付で実施される予定です。また同日をもって、現在再保険セグメントで報告されている生命保険契約を管理する既存の事業領域は、スイス・リー・ライフ・キャピタル事業部の所属となります。

ウォルター・B・キールホルツ取締役会長は次のように述べています。「当社は最近、ガーディアン・ファイナンシャル・サービスの計画的買収を発表し、生命保険のクローズド・ブック事業への継続的取り組みについて明らかにしました。このため、スイス・リー最高レベルの幹部がこの事業を担っているという姿勢を示すことがとても重要なのです。ティエリには、この事業領域の監視を確実に行うだけでなく、この先に潜む成長機会を広げ、それを掴むことに目を向けることも、自らの責任の一環として引き受けてもらえるものと期待しています」

ティエリ・レジェは18年前にスイス・リーに入社し、損害保険および生命・医療保険での幅広い経験を持っており、直近では生命・医療保険商品部門の責任者を務めました。統合される事業領域の経営チームについては、今回の変更による影響はありません。現在、Admin Re®のCEOを務めているボブ・ラトクリフは引き続き自身の専門分野である現役職に就き、今後予定されているガーディアン・ファイナンシャル・サービスの統合を含め、今後も事業の運営をリードする役割を担うことに変更はありません。

#### **11月中旬に開始予定の自社株買いプログラム**

スイス・リーは株主総会ですでに承認されている自社株買いプログラムを、11月中旬に開始する見込みです。これには、スイス企業買収委員会への申請と必要な認可が条件となっています。2015年3月、スイス・リーは、余剰資本が捻出でき、他の事業機会が社内の投資目標ハードルを満たさない

場合、株主への資本還元のための公開自社株買いプログラムを実施することを発表していました。

**2016年4月の定時株主総会でポール・タッカー氏の取締役選任を提言**  
スイス・リーの取締役会は、継続的な構成員の多様性と更新の促進の一環として、2016年4月22日に開催される定時株主総会でポール・タッカー氏を取締役メンバーへの選任を提起します。タッカー氏は2009年から2013年にかけて英国銀行副総裁を務め、金融の安定に取り組みました。それ以前は2002年以降の金融政策委員を含め、1980年の入行後、中央銀行の様々な上級職を歴任しました。さらに、G20金融安定理事会(FSB)の運営委員や国際決済銀行理事も務めました。タッカー氏は1958年生まれ、ケンブリッジ大学トリニティ・カレッジで数学士および哲学士の学位を取得しました。2014年には中央銀行業務に対する尽力が認められ、新年叙勲者としてナイト爵位を授与されました。

ウォルター・B・キールホルツ取締役会長は次のように述べています。「当社取締役会の構成を更新する継続的な取り組みの一環として、来年の新メンバーにポール・タッカー氏を選任することを提起いたします。彼の33年に及ぶイングランド銀行でのキャリアは、金融市場や特に金融の安定という領域における彼の知識を見事に裏付けるものであり、当社取締役会にとって貴重な経験と知識となります。」

#### **財務目標達成に向けて順調な推移: 2015年12月の投資家説明会で発表予定のスイス・リー戦略的枠組みについての最新情報**

当グループは、2011-2015年期の財務目標に向けてコミットし続けます。12月8日に開催される投資家説明会では、2016年以降に達成を目指す2つの新財務目標を含む、グループの戦略的枠組みについての最新の状況を発表します。

高度成長市場の保険普及率はまだ低いものの、富の拡大により経済的な保障に対する需要が高まりつつあり、将来的には引き続き収益拡大のチャンスが存在します。スイス・リーは、長期的な需要拡大が現在の市場の供給圧力を上回っていくものと予想しています。

グループの最高経営責任者を務めるミシェル・M・リエスは次のように述べています。「ここしばらくみられた市場の不透明感は、今後も続いていきます。スイス・リーは盤石な資本基盤と顧客重視の姿勢を土台として、引受業務の専門知識、ポートフォリオの舵取り、研究開発を通じて差別化を図ることで、厳さを増す事業環境に効率的に対処していきます。しかし、まだ発見されていない多くのチャンスにも目を向けていきたいと考えております。自然災害の経済的コストはここ35年間で5倍以上に膨れ上がっていますが、保険はこのリスクの高まりに追いついていないのが現状です。実際、経済的損害額と保障損害額の大きなギャップはなかなか縮まりません。この保障ギャップへの対処は、世界の保険業界にとって重要な長期的機会となります。」

**年初来の業績(2015 vs 2014)**

		2015年9月期	2014年9月期
<b>損害再保険</b>	既経過保険料 (百万米ドル)	11 378	11 678
	純利益(百万米ドル)	2 274	2 385
	コンバインド・レシオ(%)	84.8	82.7
	投資収益率(年率%)	3.8	3.6
	株主資本利益率(年率%)	23.3	25.1
<b>生命・医療再保険</b>	既経過保険料および 手数料(百万米ドル)	8 091	8 440
	純利益(百万米ドル)	763	272
	営業利益率(%)	10.7	8.8
	投資収益率(年率%)	3.6	3.3
	株主資本利益率(年率%)	17.0	5.9
<b>コーポレート・ ソリューションズ</b>	既経過保険料 (百万米ドル)	2 521	2 574
	純利益(百万米ドル)	324	249
	コンバインド・レシオ(%)	91.9	92.9
	投資収益率(年率%)	3.2	2.9
	株主資本利益率(年率%)	18.7	12.2
<b>アドミン・リー®</b>	既経過保険料および 手数料(百万米ドル)	565	731
	純利益(百万米ドル)	270	219
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	265	615
	投資収益率(年率%)	4.8	5.0
	株主資本利益率(年率%)	6.1	4.9
<b>グループ連結 (総額)</b>	既経過保険料および 手数料(百万米ドル)	22 555	23 423
	純利益(百万米ドル)	3 659	3 255
	1株当たり利益(米ドル)	10.69	9.51
	投資収益率(年率%)	3.8	3.7
	株主資本利益率(年率%)	14.5	13.3

**第3四半期決算の詳細(2015 vs 2014)**

		<b>2015 年 3Q</b>	<b>2014 年 3Q</b>
<b>損害再保険</b>	既経過保険料(百万米ドル)	4 108	4 305
	純利益(百万米ドル)	1 013	842
	コンバインド・レシオ(%)	78.0	76.7
	投資収益率(年率%)	2.9	2.8
	株主資本利益率(年率%)	34.4	28.0
<b>生命・医療再保険</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	2 771	2 873
	純利益(百万米ドル)	268	160
	営業利益率(%)	11.3	9.2
	投資収益率(年率%)	3.5	3.3
	株主資本利益率(年率%)	18.5	9.6
<b>コーポレート・ ソリューションズ</b>	既経過保険料(百万米ドル)	796	903
	純利益(百万米ドル)	85	103
	コンバインド・レシオ(%)	90.7	90.5
	投資収益率(年率%)	2.4	2.5
	株主資本利益率(年率%)	15.0	15.4
<b>アドミン・リー®</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	174	231
	純利益(百万米ドル)	21	54
	総キャッシュフロー(百万米ドル)	126	142
	投資収益率(年率%)	4.2	5.2
	株主資本利益率(年率%)	1.5	3.5
<b>グループ連結 (総額)</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	7 849	8 312
	純利益(百万米ドル)	1 399	1 227
	1株当たり利益(米ドル)	4.09	3.59
	投資収益率(年率%)	3.2	3.5
	株主資本利益率(年率%)	17.3	14.8



### スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト([www.swissre.com](http://www.swissre.com))をご覧ください。また、Twitter で(@SwissRe)をフォローしていただきますようお願い致します。